

押小だより

てんしんらんまん

天真爛漫



令和6年4月12日
さくら市立押上小学校
令和6年度 第1号
文責：仁平 博幸

地域とともに歩む、幸せを感じる押上小学校に

昨年度に引き続き、押上小学校長を務めます、仁平 博幸（にへい ひろゆき）と申します。保護者の皆様、地域の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度は、皆様に物心ともに大変お世話になりました。皆様のご協力のおかげで、大きな事件・事故等なく、子どもたちの成長を見守ることができ、うれしさと安堵感で年度末を迎えることができました。本校に関わるすべての皆様に感謝申し上げます。

今年度も、学校の様子、子どもたちの様子、また、校長としての思いや願いなどを学校便りとして発出してまいります。題名は変わらず「**天真爛漫**」です。昨年の学校便り第1号で記しましたが、この題名は、以前に私が本校に勤めていたときに担任として出していた学年便りの題名です。「天真爛漫」とは、飾り気がなく、心に思うままのことが言動に表れ、また明るさと無邪気さのあふれ出ている様子を表す言葉です。以前勤めていた時の本校の子どもたちも、今の本校の子どもたちも本当に「天真爛漫」。「子どもらしい」子どもたちです。そんな子どもたちのさまざまな面を支え、伸ばし、成長させていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。実は、昨年度、地域の方々から「校長先生！『天真爛漫』読んでよ！」とよく声を掛けていただきました。思い起こしてみると、以前に学級担任として出していた頃も、「先生！この前の『天真爛漫』に書いてあったことだけど…」と保護者の方からよくお話をいただきました。「学年便り」や「学校便り」というよりも「天真爛漫」というネーミングが印象に残るのかもしれないなと思っています。もしかすると、校長本人が「天真爛漫」過ぎるからなのか…だとすると反省しなければなりません…いずれにしても、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。（写真は、以前に本校に勤務していた様子で、約20年前かと…とにかく子どもたちも私も「天真爛漫」でした！）



さて、押上小学校のスタートに当たって、私の願う押上小学校の姿をお伝えします。それは、

「誰もが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」

です。この中には、大切なポイントが3つあります。

①「安心」

安心できる環境は、もっている力を発揮するための大元（おおもと）と考えています。「こんなこと言ったら笑われるかな…」「これをやったら何か言われるかな…」などと、おどおどしたり、びくびくしたりしているのでは、自分の力は発揮できません。子どもたちがもっている力を出せるようになるためにも、子どもたちが安心して言える・行動できる、「安心して・安全に学べる学校（学級や集団）」が大切と考えています。

（私としては「心理的安全性（心の安全）の確立」と職員にお話ししています。）

②「幸せ」

子どもたちが「今日は（いろいろあったけど）楽しかったな」「また明日が楽しみだな」と思えるようにしたいと思っています。そして「この押上小学校でよかった」という「幸せ」を感じられるようになってほしいと願っています。学校は集団生活の場ですので、さまざまなトラブルもあります。でも、それを、教職員が寄り添い、子どもと一緒に考え、悩み、解決し、乗り越える中で、子どもが「自己の成長」を、そして「成長した幸せ」を感じられるようにしたいと思います。

（ここでの「幸せ」は「well-being（ウェルビーイング）」と呼ばれるものです。「健康」や「福祉」、「感情としての幸せ」を統合したものです。）



③「だれもが」・「みんなが」

「自分だけがよければ」、反対に「自分は犠牲になってもみんながよくなれば」ということではなく、「自分もまわりの人もよいと思える考え、選択、方向性」が大切と考えています。そこには、誰かがいやな思いをしていないかなど、自分以外を気遣うことも大切になってきます。「自己中心的」にならず「自己犠牲」にもならない、「誰一人取り残さ(れ)ない」「ここにいるみんなが幸せになるために」と考えていける子どもを育てていきたいと考えています。

このような学校となるよう我々教職員や保護者の皆様を含め大人が子どもたちの幸せを願って子どもたちを支え、見守り、時には引っ張り、時には後押ししていく必要があると思っています。

また、私は校長として、職場についても、先生方が安心して仕事をし、自分のよさ(力)を発揮し、生き生きと子どもたちに向き合えるようにしていくよう努めていきます。なぜなら、先生方が生き生きと楽しく仕事に熱中できることが、子どもたちの成長につながり、押上小全体がさらに成長し、学校全体の「幸せ」アップにつながると信じているからです。

今年度も、保護者・地域の皆様とともに歩み、みんなが幸せを感じる押上小学校となるよう努めてまいります。あらためて、皆様の引き続きのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(仁平博幸)

15名の1年生を迎えて…全校100人のスタートです



4月10日(水)、桜も満開の中、多くの保護者の皆様、ご来賓の皆様のご臨席をいただき、令和6年度の入学式を無事挙行することができました。お越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。

今年度の入学生は15名。どの子も元気よく、とてもエネルギーがありそうで、私も、1年生のこれからの成長を想像し期待し、とてもワクワクしています。

また、在校生(2~6年生)の式に臨む姿勢と、国歌・校歌の歌声も大変すばらしく、私も大変感心、いや感動しました。先生方の事前指導と、式にしっかりと臨んだ子どもたちに感謝です。

1年生が入って、今年度、子どもの数はちょうど「100人」となりました。100人という数字は決して多くはありませんが、「100人だからできること」を探し、子どもたちの幸せにつながれるよう努めていきます。「『ないものねだり』ではなく『あること探し』」「視点を変え、デメリットと思っていたことをメリットに」と私は考えています。大きな学校にはできないことはたくさんあり、小さな学校だからできることを見出し、大切にしていきたいと考えています。

さて、この入学式ですが、前日に、新5・6年生が準備を行いました。卒業式の準備で活躍した5・6年生。入学式の準備もしっかりと行ってくれました。椅子並べ・そろえ、鉢植え運び、掃除、1年生教室の飾り付けなど、時間いっぱい行いました。自分の役割をしっかり務め、すてきな会場と1年教室ができあがり、「これで、明日はあたたかく新入生を迎えられるな」と思えることにとっても幸せを感じた次第です。5・6年生の子どもたちにとっても感謝をしています。ありがとう。

※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

